

AO (アドミッション・オフィス) 入学試験

アドミッション・オフィス入試 (AO入試) は、大学の理念、教育目標、学部学科の教育理念、教育目標に基づくアドミッション・ポリシー (求める学生像) に則り、北海道、日本、ひいては世界で活躍できる資質を持った人材を積極的に受け入れることを目的として実施します。AO入試では、多様な個性・能力・資質・適性・目的意識をエントリーシート、面談、課題論文を通して総合的に評価します。志望する方は、学部学科の教育内容・求める学生像などを参考に、明確な目的と意欲をもってエントリーされることを期待します。

1. 学部・学科の募集人員

学部・学科	募集人員	学部・学科	募集人員
心理学部 臨床心理学科	10名	法学部 法律学科	15名
人文学部 人間科学科	13名	経済学部 経済学科	15名
人文学部 英語英米文学科	7名	経営学部 会計ファイナンス学科	6名
人文学部 子ども発達学科	5名	経営学部 経営学科	15名
		合計	86名

2. 出願資格 (エントリー資格)

本学を第一志望とし、志望学科のアドミッション・ポリシー (求める学生像) に沿って目的を持って学修する意思を持ち、次のいずれかに該当する者。なお、高等学校等における全体の評定平均値は問わない。

- 下記の(1)～(3)のいずれかに該当する者
- 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び2019(平成31)年3月卒業見込みの者
 - 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2019(平成31)年3月修了見込みの者
 - 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者のうち、次の各項目の一に該当する者及び2019(平成31)年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び2019(平成31)年3月31日までに修了見込みの者またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び2019(平成31)年3月31日までに修了見込みの者

- 専修学校の高等課程 (修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る) で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2019(平成31)年3月31日までに修了見込みの者
 - 文部科学大臣の指定した者 (昭和23年文部省告示第47号)
 - 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び2019(平成31)年3月31日までに合格見込みの者 (旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む)
 - その他本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で18歳に達した者及び2019(平成31)年3月31日までに達する者 (※)
- ※本学において、個別の入学資格審査を必要とする場合は、事前に広報入試課へ問い合わせてください。

3. アドミッション・ポリシー (求める学生像)

札幌学院大学は学修面において以下のような資質と意思・実行力のある学生を求めます。

- 入学後の学修に適應できる基礎学力を有する人、あるいは初年次教育においてさらなる学力を身につける用意のある人。
- 入学後の学修について主体的に計画を立て、実行する意思・意欲がある人。
- 学修課題に対して、他者と協調・協働して解決しようとする意思・意欲のある人。
- 深い教養と知識を身につけ、新しい課題や問題に対して率先して取り組み解決しようとする意思・意欲のある人。

心理学部 臨床心理学科	<p>○心理学部臨床心理学科の求める学生像 人間尊重の立場に立って地域社会を担おうとする意欲を持つ、以下のような学生を求めます。 (1) 他者を支援するために必要な、人間尊重の態度をもつ人。 (2) 人との関わりを通して、自らの潜在的な資質を成長させる意欲をもつ人。 (3) 先入観にとらわれず、柔軟な視点からものごとを考える姿勢をもつ人。 (4) 臨床心理学とその関連領域 (福祉、医療、教育など) における実践体験を、それぞれの学問的知見と統合して理解しようという意思をもつ人。 (5) 将来、臨床心理学の知見を活かして、地域に住む人々のさまざまな心の問題を支援したいという意思をもつ人。</p> <p>○高等学校段階で習得すべき内容・水準 臨床心理学は、問題を抱えた人の心を研究する学問であり、コミュニケーションの力を要します。高等学校では教科全般に関心をもち、さまざまな人と接する機会を積極的に設けることを期待します。</p>
人文学部 人間科学科	<p>○人文学部人間科学科の求める学生像 人間と人間社会・文化に関心があり、地域社会の発展に貢献しようとする意欲を持つ、以下のような学生を求めます。 (1) 真に人間尊重の立場に立って、社会・文化の発展に貢献しようとする人。 (2) 社会における諸問題に強い関心をもち、当事者の観点から理解しようとする人。 (3) 科学的な調査方法を習得する意欲をもち、事実に基づいて誠実に向きあおうとする人。</p> <p>○高等学校段階で習得すべき内容・水準 (1) 公民科・地理歴史科などの学習やボランティアなどの社会活動をおして、さまざまな価値観を知り、自らの視野を広げて下さい。 (2) 「子ども・家族・教育」「地域社会と歴史」「マイノリティ (少数者)」「生命倫理」に関する問題について、普段から新聞やテレビのニュース、ドキュメンタリー番組、映画や小説などに積極的に触れて下さい。 (3) 大学では問いを追求するためのデータ収集・分析方法を学びます。高等学校での国語科や数学科、総合的な学習を通して、論理的な思考力と表現力を磨いて下さい。</p>
人文学部 英語英米文学科	<p>○人文学部英語英米文学科の求める学生像 英米の文学・文化・言語を探究し、地域・国際社会に貢献しようとする意欲を持つ、以下のような学生を求めます。 (1) 英語に興味を持ち、高等学校在学中に英検 (実用英語技能検定) 準2級以上を目標に取り組んでいる人。 (2) 大学入学後に英語の実践的運用能力 (英検2級以上もしくはそれに相当するTOEICレベル) を身につけたい人。 (3) 異文化、特に英語圏の文化に関心があり、その理解を深めたい人。 (4) 海外留学や国際交流に興味を持つ人。 (5) 英語力やコミュニケーション力を活かしながら社会に貢献することを目指す人。</p> <p>○高等学校段階で習得すべき内容・水準 「英語」の基礎学力を備え、普段から外国の文化、ニュース、映画などに積極的に触れておくことを期待します。</p>

3. アドミッション・ポリシー (求める学生像)

人文学部 子ども発達学科	<p>○人文学部子ども発達学科の求める学生像 人間発達の広い視野に立ち、子どもの発達支援や教育に寄与しようとする意欲を持つ、以下のような学生を求めます。 (1) 小学校の教育に関わりたい人。 (2) 乳幼児や子どもの保育・支援に関わりたい人。 (3) 子どもの発達や心理、教育を学び、社会でいかしたい人。</p> <p>○高等学校段階で習得すべき内容・水準 本学科は幅広く子どもの視点に立った学習をするため、高等学校では苦手科目を作らず、子どもに関するニュースや本に積極的に触れておくことを期待します。</p>
法学部 法律学科	<p>○法学部法律学科の求める学生像 さまざまな紛争の予防や解決を通じて、個性や多様性の尊重される社会の実現に貢献しようとする意欲を持つ、以下のような学生を求めます。 (1) 大学で他の学生や教員とともに自主的、積極的に知識や能力の獲得に取り組みようと考えている人。 (2) 法学・政治学を学び、現代社会についての理解を深めるとともに、紛争の適切な予防や解決のあり方に関する専門知識を身につけたい人。 (3) 自らの将来について考え、選んだ進路 (公務員、法律家、民間企業、国際社会など) にすすめるよう努力する人。 (4) スポーツ活動、文化活動、ボランティア活動などの活動で、自主性、社会性、協同性を育みたい人。</p> <p>○高等学校段階で習得すべき内容・水準 公民科、地理歴史科の学習などにより現代社会の法律や裁判、政治や行政のあり方に関心を持つことを期待します。</p>
経済学部 経済学科	<p>○経済学部経済学科の求める学生像 大学において経済学および社会科学分野の専門知識と分析能力を深め、社会の発展に貢献しようとする意欲を持つ、以下のような学生を求めます。 (1) さまざまな業種にわたって、ひろく産業社会で活躍することを目指す人。 (2) 幅広い教養と専門知識を求め、教養豊かな社会人を目指す人。 (3) 国際的な視野を持って、国際社会で活躍したいと考えている人。 (4) 地域的な視点を持って、地域社会で活躍したいと考えている人。 (5) 北海道の産業並びに福祉・文化の向上に貢献したいと考えている人。</p> <p>○高等学校段階で習得すべき内容・水準 公民科、地理歴史科などの学習を通じ、経済学および社会科学分野を学ぶために必要な基礎学力を持つとともに、経済および社会に関心を持っていることを期待します。</p>
経営学部 会計ファイナンス学科	<p>○経営学部会計ファイナンス学科の求める学生像 ダイナミックに変化する会計とファイナンスにおける社会的ニーズをサポートすることで、グローバル化したビジネスや地域の発展に貢献しようとする意欲を持つ、以下のような学生を求めます。 (1) 将来、公認会計士、税理士、国税専門官などの職業会計人や、銀行、証券会社など金融のプロを目指し、会計やファイナンスの資格取得に挑戦する人。 (2) 将来、企業や公組職 (役所など)、地域で活躍できる力を身につけるために、会計ファイナンス学科で行う経営実践の学修に取り組む意欲のある人。 (3) 将来、企業の経営者や経営管理者として活躍する基礎をつくるために、会計学やファイナンスを深く学ぼうとする人。 (4) 将来、企業の貿易や現地子会社の経理財務などの国際業務に関わろうとする人。あるいは起業または昇進で国際企業の経営者を目指す人。 (5) 将来、経営学部で教職「商業」の免許を取得して、高等学校の教諭を目指す人。</p> <p>○高等学校段階で習得すべき内容・水準 現代社会、政治経済の基礎学力を備え、簿記・会計、ビジネス情報、国際ビジネス、英語などの学習を通じ、ビジネス実践に深い関心を持っていることを期待します。</p>
経営学部 経営学科	<p>○経営学部経営学科の求める学生像 企業経営や人間の経営行動、消費行動について深い関心を持ち、グローバル化したビジネスや地域の発展に貢献しようとする意欲を持つ、以下のような学生を求めます。 (1) 将来、企業や公組職 (役所など)、地域で活躍できる力を身につけるために、経営学科で行うフィールド実践に率先して参加し、経営実践の学修に取り組む意欲のある人。 (2) 将来、企業の経営者や経営管理者として活躍する基礎をつくるために、経営学を深く学ぼうとする人。 (3) 将来、自分で会社を創るという目標を持ち、あるいは家族 (会社、商店、農業、酪農業、漁業、林業など) を継承する予定で、意欲的にビジネス感覚を身につけようとする人。 (4) 将来、企業の輸出・輸入・現地生産などの国際業務に関わろうとする人。あるいは起業または昇進で国際企業の経営者を目指す人。 (5) 将来、経営学部で教職「商業」の免許を取得して、高等学校の教諭を目指す人。</p> <p>○高等学校段階で習得すべき内容・水準 現代社会、政治経済の基礎学力を備え、マーケティング、流通経済、ビジネス情報、国際ビジネス、英語などに関心を持っていることを期待します。</p>

4. 試験日程

	A方式	B方式
学部・学科	全学部全学科	法学部 法律学科 経済学部 経済学科 経営学部 会計ファイナンス学科 経営学部 経営学科
エントリー期間	【第1グループ】旭川、北見、帯広、釧路: 8月6日(月)～郵送8月15日(水) 消印有効、持参8月16日(木) 17時 【第2グループ】函館、青森、本学: 8月20日(月)～郵送8月29日(水) 消印有効、持参8月30日(木) 17時	9月3日(月)～ 郵送9月10日(月) 消印有効 持参9月11日(火) 17時
A方式: 第一回面談等	【第1グループ】 旭川8月25日(土)、北見8月26日(日)、帯広9月1日(土)、釧路9月2日(日) 【第2グループ】 函館9月8日(土)、青森9月9日(日)、本学9月15日(土)	
課題及び出願提出期間	【第1グループ】旭川、北見、帯広、釧路: 9月13日(木)～郵送9月19日(水) 消印有効、持参9月20日(木) 17時 【第2グループ】函館、青森、本学: 9月27日(木)～郵送10月3日(水) 消印有効、持参10月4日(木) 17時	9月27日(木)～ 郵送10月3日(水) 消印有効 持参10月4日(木) 17時
A方式: 第二回面談 B方式: ゼミ体験等	10月13日(土) 本学会場	10月14日(日) 本学会場
選考内容	課題内容及び面談等	課題内容及びゼミナール体験等
合格発表日		10月26日(金)
入学手続締切日		12月13日(木)

注1) 本学のAO入試は、出願以降は専願制なので、他大学との併願はできない。

5. 出願書類

- 入学志願票 (本学所定用紙)
- 課題
- 調査書

合格された方
必見!!

スカラシップ
特待生・
成績優秀者
奨学金制度への
チャレンジ

AO入試で合格し手続きを完了された方を対象に、その学科に限り検定料無料でスカラシップ特待生及び成績優秀者奨学金制度へチャレンジすることが可能です。入学後の学業成績が一定の基準に達した場合は、最長4年間免除が継続となります。なお、2教科受験の学科において、スカラシップ特待生 (授業料全額免除) へのチャレンジは、指定の3教科を受験しなくては免除の対象となりませんのでご注意ください。

推薦入学試験

1. 推薦入学試験の種類と出願できる学部・学科及び募集人員

学部・学科	指定校制	公募制総合	公募制指定スポーツ・ 公募制課外活動 A/B	自己推薦		学科計
				A	B	
心理学部 臨床心理学科	10名	10名	—	3名	2名	25名
人文学部 人間科学科	20名	16名	10名	5名	3名	54名
人文学部 英語英米文学科	7名	4名	4名	2名	2名	19名
人文学部 こども発達学科	5名	2名	3名	2名	2名	14名
法学部 法律学科	35名	10名	15名	5名	3名	68名
経済学部 経済学科	30名	10名	15名	3名	2名	60名
経営学部 会計ファイナンス学科	10名	2名	3名	3名	2名	20名
経営学部 経営学科	20名	10名	15名	6名	3名	54名
合計	137名	64名	65名	29名	19名	314名

注) 募集人員は概数である。

2. 出願資格・推薦人数・選考方法

種類	出願資格	推薦人数	選考方法
指定校制	<p>全学部全学科</p> <p>本学が指定する高等学校を2019(平成31)年3月卒業見込みの者で、本学指定の学科を第1志望とし、出身高等学校長が推薦する者。なお、詳細は指定校の学校長宛に事前に通知する。</p> <p>※公募制総合で導入している「成績優秀者奨学金」については、希望する場合、選考を受けることが可能です。希望者は、出願の際に選考希望に必ずチェックし、公募制総合で求められている必要書類を送付するほか、課題文試験の受験が必要となります。選考判定は、公募制総合と同様に総合点の得点率により判定されます。なお、指定校制としての可否判定は、面接のみで判定します。</p>	該当校へ指定する人数	書類審査 面接
公募制総合	<p>全学部全学科</p> <p>高等学校を2019(平成31)年3月卒業見込みの者及び卒業の者で、本学を第1志望とし、次のいずれかの該当者で出身高等学校長の推薦がある者。</p> <p>(1) 高等学校における全体の評定平均値が3.5以上で人物が優れている者。</p> <p>(2) 高等学校における全体の評定平均値が3.2以上で、人物が優れており、高等学校在学中に課外活動(生徒会活動、部活動、資格取得、ボランティア活動等)の分野において積極的に活動し、優れた能力・成果を発揮した個性豊かな人物で入学後もその能力を十分に生かし得る者。</p> <p>※公募制総合では、「成績優秀者奨学金」の導入により、各学科においてそれぞれ、総合点の得点率が90%以上(合計180点)の者は、1年次授業料の年額を免除、80%以上90%未満(合計160点以上180点未満)の者は1年次の授業料の前期分を免除します。</p> <p>※この「成績優秀者奨学金」は、推薦入試では、公募制総合及び指定校の出願者のみが対象となります。</p>	1校あたりの人数制限なし	1. 書類審査: 80点 ・調査書: 35点(全体の評定平均値×7) ・課外活動: 45点 ※詳細は「6. 公募制総合の課外活動点」参照 2. 課題文: 40点 3. 面接: 80点 合計: 200点満点
公募制指定スポーツ	<p>臨床心理学科を除く全学科</p> <p>高等学校を2019(平成31)年3月卒業見込みの者及び卒業の者で、本学を第1志望とし、次のいずれかの該当者で出身高等学校長の推薦がある者。</p> <p>(1) 高等学校における全体の評定平均値が3.0以上ある者。</p> <p>(2) 高等学校3年次の1学期、もしくは前期における全体評定が3.2以上ある者。</p> <p>■事前応募条件 (1) 入学後、当該クラブ活動を継続する意志を持つ者。 (2) 本学当該クラブ顧問の推薦を受けた者。</p> <p>※出願に先立って、競技能力に関する確認を行うので前期日程で応募する者は8月末日までに、後期日程で応募する者は1月末日までに所属する高等学校の進路指導教諭またはクラブ顧問を通して広報入試課に問い合わせください。</p> <p>●指定種目(12種目) アメリカンフットボール、サッカー、ソフトテニス、硬式野球、ラグビー(以上男子)、チアリーディング、バレーボール(以上女子) 陸上競技、弓道、カーリング、ボクシング、バスケットボール(以上男女)</p>	1校あたりの人数制限なし	書類審査 面接
公募制課外活動	<p>臨床心理学科を除く全学科</p> <p>高等学校を2019(平成31)年3月卒業見込みの者及び卒業の者で、本学を第1志望とし、次のいずれかの該当者で出身高等学校長の推薦がある者。</p> <p>(1) 高等学校における全体の評定平均値が3.0以上ある者。</p> <p>(2) 高等学校3年次の1学期、もしくは前期における全体評定が3.2以上ある者。</p> <p>■スポーツ活動に優れた者 (1) 課外活動を積極的に取り組み、都道府県大会に次ぐ地区大会に入賞以上の優れた成果をおさめた個性豊かな者。 (2) 活動種目は問わない</p> <p>■文化・芸術活動に優れた者 (1) 課外活動を積極的に取り組み、コンクール・コンテストなどの成績のほか、客観的にその活動が顕著である個性豊かな者。 (2) 高等学校文化連盟の活動によらないものも含む</p> <p>■ボランティア活動に優れた者 (1) ボランティア活動に1年以上継続的に参画し、優れた成果を残し表彰された者、またはその活動によって涵養されたリーダーシップ等を発揮し他の範たる実績をあげた、個性豊かで行動力のある者 (2) ボランティア活動を主宰する団体によって具体的に証明される者</p>	1校あたりの人数制限なし	競技(活動)歴: 70点 面接点: 30点(課題文を含む) 合計: 100点満点

種類	出願資格	推薦人数	選考方法
自己推薦	<p>全学部全学科</p> <p>一般入学試験出願資格(1)~(3)のいずれかに該当し、本学を第1志望とする者。ただし、出身高等学校長の推薦は必要としない。なお、高等学校における全体の評定平均値は問わないが、出願時に高等学校の調査書を要する。</p>	1校あたりの人数制限なし	書類審査: 30点(自己推薦書) 面接: 70点(課題作成含) 合計: 100点満点

(注1) 上記記載の「高等学校」には「中等教育学校」も含む。

3. 出願期間・試験日・試験場など

種類	学部・学科	出願期間	試験日	試験場	合格発表日	入学手続締切日
公募制指定スポーツ・ 公募制課外活動A・ 公募制指定入試ポイントA・ 自己推薦A	法学部 法律学科 経済学部 経済学科 経営学部 会計ファイナンス学科 経営学部 経営学科	11月1日(木)~ 郵送11月8日(木)消印有効 持参11月9日(金)17時	11月24日(土)	本学 青森	12月7日(金)	1月17日(木)
	心理学部 臨床心理学科 ※1 人文学部 人間科学科 人文学部 英語英米文学科 人文学部 こども発達学科		11月25日(日)			
自己推薦A	全学部全学科	12月3日(月)~ 郵送12月8日(土)消印有効 持参12月10日(月)17時	12月15日(土)	本学	12月25日(火)	1月24日(木)
自己推薦B 公募制指定入試ポイントB・ 公募制課外活動B	全学部全学科 ※但し、公募制指定スポーツB及び 課外活動Bは、臨床心理学科を除く	2月4日(月)~ 郵送2月23日(土)消印有効 持参2月25日(月)17時	3月8日(金)	本学 旭川 青森	3月19日(火)	3月25日(月)

(注1) 推薦入試は専願制なので他大学・他学科との併願出願はできない。

(注2) ※1、臨床心理学科は、公募制指定スポーツ及び公募制課外活動では出願できない。

4. 試験科目・試験時間

種類	学科	試験科目	試験時間
指定校制	全学科	面接(10分程度)	10:00~
公募制総合	全学科	課題文(60分)	10:00~11:00
		面接(15分程度)	12:00~
公募制指定スポーツ・ 公募制課外活動	臨床心理学科を 除く全学科	面接(10分程度)	10:00~
自己推薦	全学部全学科	面接(20分程度)	10:00~

5. 出願書類

- 入学志願票(本学所定用紙)
- 調査書
- 志望理由書(本学所定用紙)
- その他指定されたもの

(注1) 自己推薦の自己推薦書及び課題(本学所定用紙)は、出願時に志願票と一緒に提出する。

合格された方
必見!!

スカラシップ
特待生・
成績優秀者
奨学金制度への
チャレンジ

推薦入試で合格し手続きを完了された方を対象に、その学科に限り検定料無料でスカラシップ特待生及び成績優秀者奨学金制度へチャレンジすることが可能です。入学後の学業成績が一定の基準に達した場合は、最長4年間免除が継続となります。なお、2教科受験の学科において、スカラシップ特待生(授業料全額免除)へのチャレンジは、指定の3教科を受験しなくては免除の対象となりませんのでご注意ください。

6. 公募制総合の課外活動点

公募制総合の選考方法内にある課外活動点(45点満点)は、以下の様な課外活動や諸資格取得が対象となります。課外活動や資格を1種類しか取得していない場合は、満点の45点とはならない。分野の異なる活動や複数種類の資格を取得していることで満点に近づきます。出願書類にはすべてをしっかりと記入すること。

〈課外活動の分野〉

- ・生徒会活動、ホームルーム活動の分野
- ・体育活動の分野
- ・文化活動の分野
- ・諸資格関係の分野 ※以下の表参照
- ・ボランティア活動の分野(学校外のものも含む)

諸資格 ※以下は主な資格となり、記載のない諸資格については問い合わせること。

資格	簿記検定(全経・全商)	簿記検定(日商)	リテールマーケティング(販売士)	英語検定(実用・商業英語検定)	実用英語技能検定(日本英語検定協会、文部科学省)	TOEIC L&R	TOEFL iBT	
級、スコア	3級以上	初級以上	3級以上	3級以上	3級以上	230点以上	18点以上	
資格	GTEC(3技能)	GTEC(4技能)	情報処理関係	ワープロ検定(日商)	ワープロ検定	漢字検定(日本漢字能力検定協会)	柔道、剣道、弓道	スキー、水泳
級、スコア	380点以上	630点以上	要問合せ	3級以上	3級以上	3級以上	1級以上	3級以上

社会人入学試験

1. 学部・学科及び募集人員

学部・学科	募集人員
全学部全学科	若干名

2. 出願資格

2019(平成31)年4月1日現在、満23歳以上の者で次のいずれかに該当する者

下記の(1)～(3)のいずれかに該当する者

(1)高等学校または中等教育学校を卒業した者

(2)通常の課程による12年の学校教育を修了した者

(3)学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者のうち、次の各項目の一に該当する者

①外国において、学校教育における12年の課程を修了した者またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

③専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

④文部科学大臣の指定した者(昭和23年文部省告示第47号)

⑤高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む)

⑥その他本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者(※)

※本学において、個別の入学資格審査を必要とする場合は、事前に広報入試課へ問い合わせてください。

3. 出願期間・試験日・試験場など

学部・学科	出願期間	試験日	試験場	合格発表日	入学手続締切日
A日程 法学部 法律学科 経済学部 経済学科 経営学部 会計ファイナンス学科 経営学部 経営学科 心理学部 臨床心理学科 人文学部 人間科学科 人文学部 英語英米文学科 人文学部 こども発達学科	11月1日(木)～ 郵送11月8日(木)消印有効 持参11月9日(金)17時	11月24日(土)	本学 青森	12月7日(金)	1月17日(木)
		11月25日(日)			
B日程 全学部全学科	2月4日(月)～ 郵送2月23日(土)消印有効 持参2月25日(月)17時	3月8日(金)	本学 旭川 青森	3月19日(火)	3月25日(月)

4. 試験科目・配点・試験時間

学部	試験科目	配点	試験時間
A日程 全学科	課題文	100点	10:00～11:00
	面接 (10分程度)	100点	12:00～
B日程 全学科	課題文	100点	11:30～12:30
	面接 (10分程度)	100点	13:00～

5. 出願書類

(1)入学志願票(本学所定用紙) (2)調査書 (3)志望理由書(本学所定用紙)

海外帰国生入学試験

この入学試験は、海外のさまざまな分野で日本人が活躍している今日、外国の教育機関で学び帰国するいわゆる海外帰国生の数が年々増加している状況を考慮し、海外において生活し、多様な価値観を持った人材を積極的に受け入れることを目的として実施するものです。本学は海外帰国生のための特別な教育課程を有しておりません。従って、講義等は他の日本人学生とすべて同様に行われますので留意してください。

1. 学部・学科及び募集人員

学部・学科	募集人員
全学部全学科	若干名

2. 出願資格

日本国籍を有し、外国において学校教育を受けた者で、日本語の講義を理解できる能力を有し、次のいずれかに該当する者。

- (1) 学校教育法における12年の課程のうち、外国の高等学校相当として指定した外国人学校に、最終学年を含めて2年以上継続して在籍し、2017(平成29)年4月1日から2019(平成31)年3月31日までに卒業した者または卒業見込みの者。
- (2) 外国において2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受け、原則として日本の高等学校の第2学年または第3学年に編入を認められた者で、2019(平成31)年3月に卒業見込みの者。
- (3) 外国において国際バカロレア資格、アビトゥア資格、フランス共和国バカロレア資格のいずれかを取得した者で、2019(平成31)年4月1日までに満18歳に達する者。
- (4) 上記の資格と同等の資格があると本学が認めた者。(※)
※事前に広報入試課へ問い合わせください。

3. 出願期間・試験日・試験場など

学部・学科	出願期間	試験日	試験場	合格発表日	入学手続締切日
法学部 法律学科 経済学部 経済学科 経営学部 会計ファイナンス学科 経営学部 経営学科	11月1日(木)～ 郵送11月8日(木)必着 持参11月9日(金)17時	11月24日(土)	本学 青森	12月7日(金)	1月17日(木)
心理学部 臨床心理学科 人文学部 人間科学科 人文学部 英語英米文学科 人文学部 こども発達学科		11月25日(日)			

4. 試験科目・配点・試験時間

学科	試験科目	配点	試験時間
全学科	課題文	100点	10:00～11:00
	面接 (10分程度)	100点	12:00～

5. 出願書類

海外帰国生として志願する者は所定の期日までに次の書類を提出すること。

- (1) 入学志願票(本学所定用紙、写真貼付)
- (2) 最終出身学校の卒業(修了)証明書、または卒業(修了)見込証明書および成績証明書
 - ① 原本を提出すること。原本が提出できない場合はコピーでも可。ただし、その場合は必ず原本を持参し呈示すること。
 - ② 国際バカロレア資格を取得した者は、国際バカロレア証明とIB最終試験6科目の成績評価証明書を提出すること。
 - ③ ドイツ連邦共和国アビトゥア資格を取得した者は、アビトゥア資格証明書と成績証明書を提出すること。
 - ④ フランス共和国バカロレア資格を取得した者は、バカロレア資格証明書と成績証明書を提出すること。
- (3) 健康診断証明書(本学所定用紙)
- (4) 志望理由書(本学所定用紙)
- (5) 海外在留証明書(本学所定用紙)
- (6) 調査書(出身高等学校所定用紙)(日本の高等学校を2018(平成30)年3月に卒業した者及び2019(平成31)年3月に卒業見込みの者のみ提出)なお、文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者はその合格成績証明書を提出すること。
- (7) 履歴書(本学所定用紙)

外国人留学生入学試験

この入学試験は、現に外国籍の者が外国において12年以上の学校教育を受け、札幌学院大学へ入学を希望する者を対象としています。

1. 学部・学科及び募集人員

学部・学科	募集人員
全学部全学科	若干名

[札幌学院大学への志願から入学までの手続きについて]

《本学へ外国人留学生として入学するまでの手続きは、次の通りです。》
出願書類の提出(本人)→受験票の送付(大学)→面接試験(本人)→可否の通知(大学)→入学手続書類の提出(本人)→書類確認(大学)→入学許可書発行(大学)→在留資格の変更手続き(本人)→外国人登録済証明書の提出(本人)→入学(本人)

2. 出願資格

外国籍を有し、2019(平成31)年4月1日現在満18歳以上で、次のいずれかに該当する者。

- ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び2019(平成31)年3月31日までに修了見込みの者。
 - ② ①に準ずる者で文部科学大臣の指定した者。
 - ③ 文部科学大臣の指定した次のいずれかの者。
- ア. スイス民法典に基づく財団法人国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者。
イ. ドイツ連邦共和国において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者。
ウ. フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者。
エ. 外国人を対象に教育を行うことを目的として日本において設置された教育施設であって、その教育活動について、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(WASC、ACSI、ECIS)の認定を受けたものに置かれる12年の課程を修了した者及び2019(平成31)年3月31日までに修了見込みの者。

3. A日程

(1) 出願期間・試験日・試験場

学部・学科	出願期間	試験日	試験場	合格発表日	入学手続締切日
法学部 法律学科 経済学部 経済学科 経営学部 会計ファイナンス学科 経営学部 経営学科	11月1日(木)～ 郵送11月8日(木)必着 持参11月9日(金)17時	11月24日(土)	本学	12月7日(金)	1月17日(木)
心理学部 臨床心理学科 人文学部 人間科学科 人文学部 英語英米文学科 人文学部 こども発達学科		11月25日(日)			

(2) 試験科目・試験時間

学部・学科	試験科目	試験時間
全学部全学科	小論文(60分)(小論文試験受験者のみ)	10:00～
	面接(25分程度)	12:00～

4. B日程

(1) 出願期間・試験日・試験場

学部・学科	出願期間	試験日	試験場	合格発表日	入学手続締切日
全学部全学科	1月7日(月)～ 郵送1月25日(金)必着 持参1月28日(月)17時	2月3日(日)	本学・東京	2月19日(火)	2月28日(木)

(2) 試験科目・試験時間

学部・学科	試験科目	試験時間
全学部全学科	小論文(60分)(小論文試験受験者のみ)	11:30～
	面接(25分程度)	個別に連絡

5. 出願書類

外国人留学生として志願する者は、所定の期日までに次の書類を提出すること。

- (1) 入学願書(本学所定用紙、写真貼付)
- (2) 履歴書(本学所定用紙)
- (3) 出身国の最終出身校の卒業(見込み)証明書及び成績証明書(コピー可)
- (4) 現在在籍している機関(日本語学校、専門学校、大学等)の修了(見込)証明書または在学証明書
- (5) 現在在籍している機関(日本語学校、専門学校、大学等)の成績・出席率証明書
- (6) 志望理由書(本学所定用紙)
- (7) 在留カードのコピー(志願者が日本国内に在住している場合)
- (8) 旅券(パスポート)のコピー
- (9) 必要がある場合には、外国政府または在日外国公館の発行する学校証明書
- (10) 経費支弁書(本学所定用紙)
※経費支弁者が自筆で記入し、署名、捺印してください。記入は、経費支弁者の母国語で行いません。なお、経費支弁者が複数いる場合は用紙をコピーして、経費支弁者全員分の経費支弁書を提出してください。また、記入が日本語・英文以外の場合は、日本語学校、大使館、領事館等の公的機関が発行した日本語訳をあわせて提出してください。
- (11) 日本語能力試験の可否結果通知書(コピー)又は日本語能力試験N2レベル相当の日本語力を有すると証明できるもの(原本)
※小論文受験者以外は上記2点のうち取得済みのものを全て提出してください。2017(平成29)年12月又は2018(平成30)年7月に国際交流基金と日本国際教育支援協会が共催で実施する「日本語能力試験」の可否結果通知書(コピー)を提出してください。なお、「日本語能力試験」を受験された場合には、本学より日本学生支援機構に成績照会を行いますので、日本語能力試験の成績通知書の提出は不要です。

※選考方法などの詳細は「2019年度 外国人留学生入試要項」でご確認ください。